

『小学社会 5年』年間指導計画(案)(全90時間)

* は平成21・22年度の移行措置による変更箇所

単元	一学期制	三学期制	月	単元名	時間	学習のねらい	子どもの学習活動
日本の自然と人々の暮らし(全十六時間)	前期	一学期	4	大単元導入 (P.2~3)	1	・国土の衛星写真や地図帳を手がかりに、国土の自然と人々の暮らしについての学習課題をつかむことができる。	・衛星写真を見て、気づいたことを出し合う。 ・自分の住んでいる都道府県の位置を確かめる。
				わたしの知っている日本 知っているところを話し合う (P.4~5)	1	・「わたしの知っている日本」を出し合いながら、日本の国土や各地の暮らしについて調べる計画を立てることができる。	・自分の知っている日本について話し合う。
				1日本はどんな国 日本の形をかいてみよう わたしの日本をかこう 日本のはんいを調べる (P.6~9)	4	・国土の形をかく活動をきっかけとして、国土の位置、六大陸や三大洋、世界の国々などについて調べ、世界の大陸や海洋と日本の国土との位置関係や、日本列島の特徴への理解を深めることができる。	・地図を見ずに日本の形をかく。 ・日本の範囲を地図帳で調べる。
				世界の国々を調べる 世界の海洋や大陸、日本の位置を調べる 指導案p.18-21を参照			・地球儀や地図帳を用い、主な国の名称と位置を調べ、白地図などに表現する。 ・地球儀や地図帳を用い、六大陸や三海洋、世界における日本の位置を調べる。
			5	地図から見える日本 日本の地形を調べる 日本の気候を調べる (P.12~13)	2	・我が国の地形や気候などの自然環境の様子を調べ、日本の自然環境の特色やよさをとらえることができる。	・日本の地形を調べ、白地図にかく。 ・日本の気候を地図帳などで調べる。
			4	2自然とともに生きる人々 海と風と島々 - 沖縄県の人々の暮らし - 沖縄県の気候を調べる 家づくりのくふうを調べる 農業のようすを調べる パンフレットをつくらう (P.14~21)	4	・暖かい沖縄県の土地の様子や人々の暮らしを調べ、人々が自然条件に適応しながら、生活や産業を営んでいることをとらえることができる。	・沖縄県の気候を地図帳や資料で調べる。 ・「手紙を使った調べ方」「インターネットを使った調べ方」を手がかりに、人々の暮らしや産業を調べる。 ・沖縄県の特徴をパンフレットにする。
			3	雪と氷と大地 - 旭川市の人々の暮らし 旭川市のようすを調べる 暮らしのくふうを調べる 産業のようすを調べる (P.22~27)	3	・寒い旭川市の土地の様子や人々の暮らしを調べ、人々が自然条件に適応しながら、生活や産業を営んでいることをとらえることができる。	・旭川市の自然の様子を調べる。 ・「ファクシミリを使った調べ方」を手がかりに、人々の暮らしや産業を調べる。
			1	みんなでチャレンジ 調べてつくろうマイマップ (P.28~29)	1	・日本各地の人々の生活の様子や自分たちとのつながりに関心を持ち、調べたことをもとに、マイマップをつくることができる。	・本や新聞、コンピューターや手紙、ファクシミリなどで調べる。 ・白地図に調べたことや考えたことをかき込む。
			6	大単元導入 (P.30~31)	1	・食料品売り場の写真を手がかりに、食生活と食料生産のつながりに関心を持ち、学習課題をつかむことができる。	・買い物の経験を出し合う。 ・米や魚の産地について話し合う。
				米のふるさとはどこ？ 米はどこから (P.32~33)	2	・米袋を調べたり、身近な地域の米作りを調べたりするとともに、さかんな地域として秋田県を調べようとする。	・身近な地域での米作りについて調べる。 ・米の産地を地図帳や図書館の本で調べる。 ・地域の農家の米作りの様子を取材する。
				1米作りのさかんな地域 米どころ、横手盆地 横手盆地を調べる 判田さんの米作りを調べる (P.34~37)	3	・秋田県の横手盆地を事例に、地理的条件や気候条件が米作りに適していることをとらえるとともに、1年間の米作りの流れを理解する。	・「電子メールの書き方」などを参考に、横手盆地の自然の様子や土地利用について取材する。
				米作りをささえる人々の努力 「あきたこまち」ができるまで 米作りの変化について調べる (P.38~41)	2	・品種改良の意味を考え、耕地整理や農業機械・農薬・化学肥料などを使うことにより、作業効率を高めたり、収入を増やしたりするように、農家の人々が努力や工夫をしていることを理解することができる。	・米作りについて農家に取材する。 ・新しい米の品種や栽培方法の研究について、農業試験場に取材する。 ・米作りの変化を農家に取材したり、資料で調べたりする。
7							
わたしたちの食生活と食料生産(全二十六時間)							

工業の発達とわたしたちの暮らし(全二十時間)	二期	9	米作りの問題とこれからの米作り 米作りの心配なことを調べる 環境にやさしい米作りを調べる 折込「日本各地の農業」 ひかるさんの研究 ゆうたさんの研究 (P.42~47)	4	・米作りの農家が抱えている問題や新しい米作りの取り組みの現状をとらえることができる。 ・米作りで学習したことを生かし、他の作物や畜産物についてそれぞれさかんな地域や問題点などについて理解を深める。	・米作りの問題を農家に取材したり、資料で調べたりする。 ・環境にやさしい米作りをインターネットなどで調べる。 ・日本の農業全般について、地図帳などを使って調べる。
			2水産業のさかんな地域 魚はどこから 日本のまわりの海を調べる (P.48~49)	1	・日本は、海流や大陸棚など恵まれた自然条件によって、水産業のさかんな国となっていることをとらえることができる。	・日本の周りの海について、図書館の本や地図帳で調べる。
			八戸市の水産業 八戸市の水産業を調べる 八戸市の遠洋漁業 八戸市の近海での漁業を調べる (P.50~55)	3	・水産業のさかんな青森県八戸市を事例として調べ、水産業が食料確保に果たしている役割や、自然条件と人々の努力によって、遠洋や沖合漁業が営まれていることをとらえることができる。	・八戸市の水産業について、市役所や漁業協同組合に取材する。 ・八戸市の遠洋漁業・沖合漁業の様子を取材する。
			明石市の漁業 明石市の港を見学する つくり、育てる漁業を調べる (P.56~59)	2	・明石市を事例に、沿岸での漁の様子や栽培漁業が営まれていることをとらえることができる。	・「インタビューのしかた」を参考に漁港や栽培漁業センターを見学・取材する。
		これからの水産業 日本の水産業の変化を調べる 新しい取り組みを調べる (P.60~63)	2	・水産資源の増産や環境の改善などの問題と取り組む人々の工夫や努力をとらえることができる。	・水産業の変化について、図書館の資料などで調べる。 ・魚を増やすための新しい取り組みについて、インターネットなどで調べる。	
		10	3食料生産をささえる 新鮮な食料をとどける 魚がとどくまでを調べる+食料の運ばれ方を調べる 食料の輸入先を調べる 食料輸入の問題を調べる これからの食料生産について調べる (P.64~73)	4	・食料生産地と消費地を結ぶ運輸の働きを調べ、鮮度を保ちながら生産物を早く消費地に届ける努力をしていることをとらえることができる。 ・食料の輸入について調べ、我が国の食料確保の現状や国内生産を高める努力をしていることをとらえることができる。	・水産物が家庭に届く流れを調べる。 ・食料の輸入先を図書館の資料などで調べる。 ・食料輸入の問題を調べる。 ・これからの食料生産について調べる。
			みんなでチャレンジ 意見こうかん会を開こう (P.74~75)	1	・食料の輸入問題について関心を深め、意見交換会を開き、考えを豊かにすることができる。	・発表内容を考える。 ・資料を集め、発表用の資料をつくる。 ・意見を発表する。
			みんなでチャレンジ 農業を体験しよう (P.76)	1	・体験農園に参加して、農家の人たちの仕事の苦労や作物を育てる知恵に気づくことができる。	・野菜の収穫などを体験する。
	大単元導入 (P.2~3)		1	・自動車の組み立て工場の写真を手がかりに、自動車生産の様子や働く人に関心をもち、学習意欲を高めることができる。	・組み立て作業や働く人の様子について、気づいたことを出し合う。	
	11	自動車とわたしたちの暮らし 暮らしのなかの自動車を考える (P.4~5)	1	・自動車が果たしている役割や自動車社会の問題に関心をもち、学習の計画を立てることができる。	・くらしと自動車のつながりを考える。	
		1自動車工業のさかんな地域 1日に2200台の自動車ができる！ 自動車工場を見学する 組み立て工場を調べる 自動車のゆくえを調べる (P.6~11)	5	・三重県鈴鹿市の自動車工場を事例にして調べ、生産の仕組みや働く人の工夫や努力、出来上がった自動車の行方についてとらえることができる。	・自動車工場を見学し、自動車の組み立て工程や完成した自動車の行方を取材する。	
		自動車工場をささえる関連工場 ハンドル工場を調べる 自動車工場とのつながりを調べる (P.12~15)	2	・ハンドル工場を例にして、関連工場と組み立て工場とのつながりについてとらえることができる。	・関連工場の一つであるハンドル工場で、部品づくりの過程や組み立て工場との関連を取材する。	

わたしたちのくらしをささえる情報(全十二時間)	12	人と環境にやさしい工業をめざして 新しい自動車づくりを調べる 「環境にやさしい工場」をめざして (P.16～19)	2	・安全や環境に配慮した新しい製品をつくるための工夫や開発について調べることを通して、工業生産に従事している人々の願いをとらえることができる。	・環境をこわさない自動車づくりや、環境にやさしい工場について、インターネットなどを使って調べる。	
		2日本の工業の特色と働く人々のようす 工業の種類 工業製品でないものをさがす 工場の集まる地域を調べる (P.20～23)	2	・日本の工業の種類や工業がさかんな地域の分布などについて調べるとともに、新しい工業地域ができていることをとらえることができる。	・工業製品でないものを調べる。 ・工場の集まる地域を地図帳や図書館の本や資料などで調べる。	
		工業を支える運輸と貿易 原料や工業製品の旅を調べる + ゆうたさんの研究 貿易をめぐる問題を考える (P.24～27)	3	・工業生産を支える原料や工業製品の動きについて調べ、外国との貿易の現状や問題点をとらえることができる。	・原料や工業製品について、インターネットなどで調べる。 ・外国との貿易の現状や問題点を調べる。	
		工場働く人々 大工場と中小工場を調べる 働く人々について考える (P.28～31)	3	・大工場と中小工場働く人々の現状について調べ、働く人々の願いや問題についてとらえることができる。	・大工場と中小工場働く人々の様子や願いを調べる。	
		みんなでチャレンジ どこでつくられたの？この製品 (P.32～33)	1	・工業製品の生産地に関心をもち、自分たちの生活が、世界の人の働きで支えられていることをとらえることができる。	・外国製の工業製品の生産国名や場所などを調べる。	
		大単元導入 (P.34～35)	1	・テレビや新聞などに関する写真を手がかりに、わたしたちの生活と通信産業との結びつきについての学習課題をつかむことができる。	・テレビや新聞などに関する写真を見て、働く人の様子や情報産業の働きについて話し合う。	
	1	身まわりの情報 情報を手に入れる方法を調べる (P.36～37)	1	・遠足の日の天気調べをして、情報を入手するにはいろいろな方法があることを知り、情報と生活の結びつきに関心をもち、学習計画を立てることができる。	・いろいろな方法で天気調べをする。 ・情報の利用について家の人に聞く。	
			1ニュース番組をつくる人たち ニュース番組ができるまで テレビ局を見学する 取材・編集の仕事調べる ニュースキャスターの仕事調べる 新しい放送を調べる + ひかるさんの研究 (P.38～45)	5	・テレビ局の仕事の様子や働きについて調べ、情報を発信する産業に従事している人々の工夫や努力に気づくとともに、様々な情報が人々のくらしと深く関わっていることをとらえることができる。	・テレビ局を見学する。 ・番組づくりに携わるプロデューサー、取材や編集をする人、ニュースキャスターなどにインタビューする。
			2情報化社会を生きる 情報のはたらきと発信 地震と情報について調べる + たつやさんの研究 産業と情報について調べる 情報化社会を生きるために (P.46～51)	4	・阪神・淡路大震災時の情報伝達の様子を調べ、情報の収集や発信が、生活をするうえでとても大切であることに気づく。また、通信と産業との結びつきや情報を取り扱う際の様々な問題などに気づき、情報を有効に活用することができることをとらえることができる。	・阪神・淡路大震災時の情報伝達の様子を調べる。 ・産業と情報の結びつきを調べる。 ・情報の取り扱い方について考える。
		2	みんなでチャレンジ インターネット新聞をつくらう (P.52～53)	1	・インターネットを活用して、これまで学習したことや学校の様子などを紹介する紙面をつくることができる。	・新聞の内容を決め、取材や撮影などを行って、情報を収集し、資料を整理して紙面をつくる。
			大単元導入 (P.54～55)	1	・琵琶湖の航空写真などを観察し、産業や生活、開発による環境の変化について考え、学習課題をつかむことができる。	・写真を見て、琵琶湖について見聞きしていることを出し合う。
			身まわりにある自然 琵琶湖の自然を調べる (P.56～57)	1	・琵琶湖の環境を学習する「フローティングスクール」などを手がかりに、琵琶湖の自然と開発について関心をもち、学習計画を立てることができる。	・「フローティングスクール」の体験を調べる。 ・琵琶湖の自然について、インターネットなどで調べる。

国土の環境を守る(全十五時間)			3	1 国土の開発と自然 身近な開発と人々の暮らし 開発による自然の変化を調べる 水のごれ以外の問題を考える 変わっていく国土を調べる (P.58~61)	・琵琶湖や全国各地の開発について調べ、自然破壊の様子を調べたり、自然の保護の大切さについて考えたりすることができる。	・琵琶湖博物館をインターネットなどを使って調べる。 ・開発と自然保護について調べる。
				公害をふせぐ 公害について調べる + はるかさんの研究 身近な環境問題を話し合う (P.62~65)	・過去の公害や現在の環境問題について調べ、国民の健康や生活環境を守ることの大切さをとらえることができる。	・様々な公害について調べる。 ・今の日本の環境問題について話し合う。
				2 自然を守る運動 森林がはたす役わり 森林のはたらきを調べる 森林を守る活動を調べる (P.66~69)	・日本の森林面積や森林の働きを調べるとともに、森林を守る活動に関心を持ち、森林を守る人々の努力に気づくことができる。	・国土の森林面積や森林の働きを調べる。 ・森林を守る各地の取り組みを調べる。
				自然を守る人々 自然を守る運動を調べる 自分たちにできる活動を考える (P.70~73)	・自然を守る各地の取り組みや自然保護運動について調べるとともに、自分たちにも自然を守るためにできる活動があることに気づき、実践しようとする意欲をもつことができる。	・自然保護運動について調べる。 ・自然や環境を守る活動で、自分たちにもできることを考える。
				みんなでチャレンジ 「こどもエコクラブ」の活動 (P.74)	・「こどもエコクラブ」について調べ、身近な環境の保全に自分も働きかけていく意欲を高めることができる。	・インターネットで「こどもエコクラブ」の活動について調べる。 ・調べたことを発表する。